

省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(工場・事業場単位)の採択事例

A社：

- ・約30年使用の空調・照明設備を高効率タイプに更新、集塵機のインバータ化
- ・EMSを導入し、継続的な運用改善を図る
- ・補助金額 = 約3千万円

【経緯】

当初、大手空調設備会社から当補助金の設備単位枠で進んでいたが、FFGSが提案した補助金額・省エネ効果が共に高い工場単位枠に変更し採択を獲得。

【EMSの活用】

- ・断裁紙屑の収集のため、常時動作していた集塵機のダクトファンをインバータ制御
- ・**省エネ率 = 4%**

【空調設備の省エネ】

- ・工場地下水を利用した水冷冷温水システム空調を高効率個別EHPに変更
- ・工場空調稼働時に常時動作していた揚水ポンプをトイレなどのみに変更
- ・**省エネ率 = 13%**

【照明設備の省エネ】

- ・事務所・工場内のベースライト(通常照明)は約60%、工場・倉庫の高天井照明は約80%の省エネを実現(照明は費用対効果大)
- ・**省エネ率 = 7%**

省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(工場・事業場単位)の採択事例

B社：

- ・高効率空調、変圧器、照明のLED化、および最新型印刷機への更新
- ・蓄電システムを導入し、複数台数のコンプレッサーの台数制御を実施
- ・EMSを導入し、継続的な運用改善を図る
- ・補助金額 = 約1億1千万円

C社：

- ・生産工程の一部を自動化することにより、原単位(*6)の向上を図る
(*6)原単位とは、たとえば1枚の印刷物を生産するためにかかる電気量のこと
- ・コンプレッサーをインバータタイプへ、変圧器を高効率タイプへ更新
- ・補助金額 = 約5千万円

D社：

- ・既存の生産設備の更新で稼働率を向上させ、原単位を改善
- ・空調、照明の設備更新、および排熱排気ファンのインバータ化
- ・EMSを導入し、継続的な運用改善を図る
- ・補助金額 = 約2億7千万円